

納

月

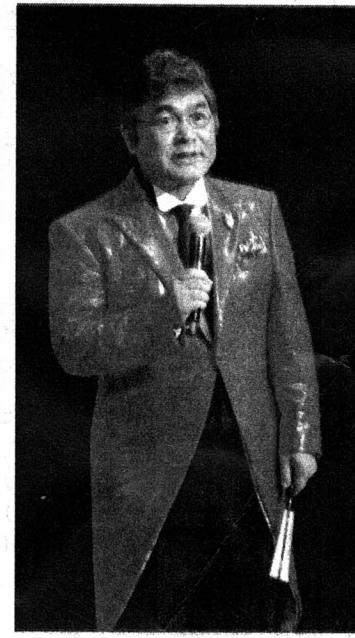
石垣市

毒舌トーキングに爆笑の渦

綾小路きみまろさん初公演

中高年のアイドルとして知られるお笑いタレント、綾小路きみまろ初となるライブを行つた。

球王国の繁栄を支えた。訪れた上間綾さんは「ゆいゆい掛け声が耳から離れてもお祭りはほしい」と話し



会場を爆笑の渦に巻き込んだ綾小路きみまろさん

さんが31日、石垣市民会館大ホールで石垣島初となるライブを行つた。加齢をネタにしたといふ所に老後は住みたさす「昭和枯れすすきの奥さま方」と呼び掛けたとところで、すかさず「昭和枯れすすきの奥さま方」と呼び掛けけると、客席はどつと沸いた。その後も絶え間なくギャグが連発され、客席から笑いが絶えることはなかつた。ライブはFMいしがきサンサンラジオが主催

白保リゾートホテル問題連絡協議会（山城吉博会長）が3月25日付で、「自然環境・生活環境保全」ための施策の要望書を県に提出した。要望書では、▽土地開発許可の際の地下浸透排水の基準を厳しくし、栄養塩の排水規制を含むサンゴ礁海域の保全▽県が示している「石垣都市計画都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」の早期具体化――を求めている。

同協議会によると、背景には西表石垣国立公園の海域公園に指定されている白保地域の

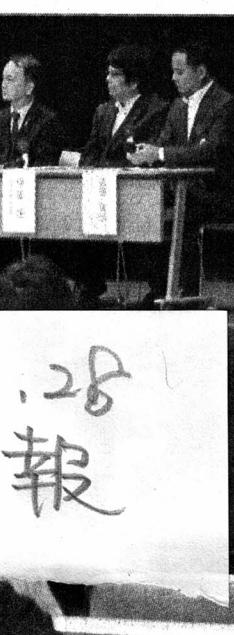
サンゴ礁海域沿岸部周辺での土地の買い占めが進んでいることがあるといふ。

労働者やホームレスらが集まつた。寄せ場に座り込むなどして抗議し、午後6時ごろに1階シャッターを下ろす作業が始まると、真下に寝転んで抵抗するなどした。労働者らは「ここはわれわれの居場所」「閉鎖は絶対にさせない」などと口々に叫んでいた。

県に環境保全を要望

白保ホテル問題連絡協議会

勧告の撤回を



2019.03.28
八重山日報

「ハムで「内憂外患」指摘」村でも同様の決議が採すべきと訴えられた。沖縄県民は日本人だと思つてゐる人が今、友人や知人に呼びかけ、声を上げよう」と連帯を呼びかけた。

宜野湾市の呉屋等市議、西原町の伊集悟町議も登壇した。

この日は在日中国人

ハム理事の仲間立て」の賛否

ハム、県議会が「辺

辺立地」の賛否

ハム、県議会が「辺